

〔ユニットバス取替専用〕

三菱ダクト用換気扇（グリル別売タイプ）

本体形名
VD-10ZUC4-IN 〈局所換気タイプ〉 VD-10ZLUC4-IN 〈24時間換気機能付タイプ〉

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はおお客様用です。必ずお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。

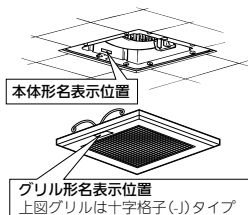
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

■この製品は、ユニットバスの天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。

■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。

■電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。

■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。









1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		感電注意		指示に従う		アース確認
---	----	---	-------	---	------	---	------	---	-------	---	-------

警告			
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内装式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●浴室内にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用した場合に感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合に発火の原因。 	<p>感電注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。 	<p>アース確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合に感電の原因。
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 			
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様さま相談窓口にご相談ください。 			

注意

<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。 ●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。 ●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
--	---

2. 据付け前のお願い

注意

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

- プラスチックボディアティブダクト用換気扇およびダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉には据付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

据付位置

- グリルから水滴が落ちてでも不快にならない位置に据付けてください。
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり

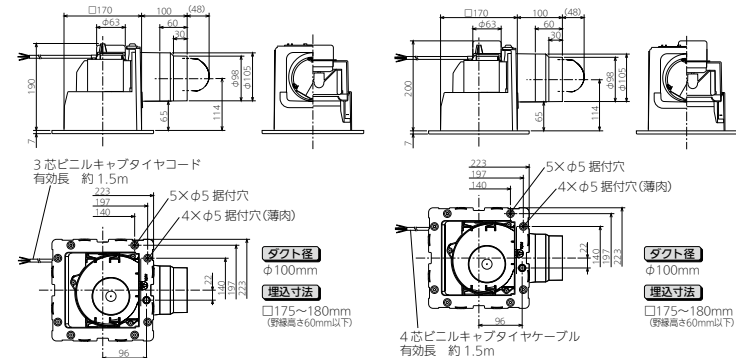


3. 外形寸法図

単位(mm) 【付属部品】据付ネジ（ステンレス製）…… 5本

■VD-10ZUC4-IN

■VD-10ZLUC4-IN



4. 据付方法

※天井材の下に本体フランジを据付けてください。

お願い

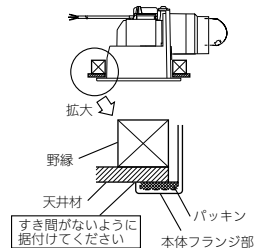
- 本体の据付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように据付けてください。
(天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります)

■パッキン材を使用する場合

- 天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、据付状態ですき間がないようにしてください。

■補強板を使用する場合

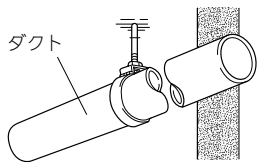
- 天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、厚さが1mm以下のものをご使用ください。



1 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力加わらないよう天井より吊る。(力加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)
- 排気ダクトは結露水の戻りによるグリルからの滴下、雨水の浸入を防ぐため屋外へ向けて1/100以上の下り勾配をつける。
(本製品はドレン水を排気口より排出する構造です)



4.据付方法 つづき

2 天井材の開口と野縁組立

野縁の内寸Aが175～180mm、野縁高さ+天井材厚さが60mm以下になるよう、最低2本の補助野縁を使用し、据付枠を組み、(野縁高さ+天井材厚さが60mmより大きい場合据付けできません)

天井材 野縁 補助野縁

●天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。

●野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。

野縁内寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合の原因となります。

3 本体の据付け①(本体とダクト接続口を分離して据付ける場合)

ダクト接続口の取りはずし

- 本体内側のツメを矢印の方向に押さえながらダクト接続口を図のように本体から取りはずす。

ダクト接続口の固定

- (1) ダクト接続口をダクトに差し込む。
- (2) ダクト接続口を天井開口部に据付ネジ1本で固定する。
- (3) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

ツメ

本体の差し込み

- (1) 本体を天井開口部にそって差し込む。
- (2) ダクト接続口とのはめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の突起部を本体下部の角穴に差し込む。

本体の固定

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の据付ネジ4本で向かい合う2辺の据付穴を使用し本体をすき間のないようしっかりと固定する。

●お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)
- 本体を天井に据付ける時に、据付ネジ据付穴から天井面を覗いて、天井開口部側面から十分距離をとった場所に据付ネジで本体を据付けてください。天井開口部側面近くに据付ネジを締め付けると、強度が十分確保できない場合があります、本体が落下するおそれがあります。

ツメ ダクト接続口 テーピング ダクト 突起部 吐出口 フランジ 本体 据付ネジ 据付穴 据付ネジ4

3 本体の据付け②(VD-10ZUC4-INの据付けでB寸法が40mm以下の場合)

本体とダクト接続口を一体で据付け可能です
本体を天井開口部に挿入する

●お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

※B 寸法は天井厚さ+野縁高さの合計です。

本体 ダクト接続口 据付枠 天井面 本体フランジ

本体の固定

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の据付ネジ5本で向かい合う2辺の据付穴とダクト接続口の据付穴を使用し本体をすき間のないようしっかりと固定する。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

●お願い

- 本体を天井に据付ける時に、据付ネジ据付穴から天井面を覗いて、天井開口部側面から十分距離をとった場所に据付ネジで本体を据付けてください。天井開口部側面近くに据付ネジを締め付けると、強度が十分確保できない場合があります、本体が落下するおそれがあります。

テーピング 本体 ダクト 据付ネジ据付穴 据付ネジ4 本体フランジ

4 電気工事

警告

- 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

●結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認ください、電圧の確認や電気配線の識別を実施の上、結線してください。

●結線図の④部分の接続部は市販のジョイントボックスに収めてください。

●結線図(太線部分を結線する)

●VD-10ZUC4-IN

電源 AC100V 50/60Hz 電圧側 接地側 換気扇本体 速結端子 アース

●VD-10ZLUC4-IN

電源 AC100V 50/60Hz 電圧側 接地側 換気扇本体 速結端子 アース

●適応コントロールスイッチ

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZUC4-IN	P-11SW2	0.5A-AC300V

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZLUC4-IN	P-04SWLB5	0.5A-AC300V

●コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」「弱」切替えでランプの点灯が薄くなったたりちらついたりすることがありますが異常ではありません。

●市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

■結線の前の確認

電圧の確認

- 線間電圧が表の電圧であることを確認してください。

電圧チェック表

スイッチ	測定部	①-②	①-③
切		0	0
入-強		100	0
入-弱		0	100

線間電圧(V)

電源 AC100V 50/60Hz 電圧側 接地側

コントロールスイッチ

換気扇本体 速結端子 共通 強 弱

アカ シロ クロ

5 グリルの据付け

この製品はシステム部材の別売グリルが必要です。別途ご用意ください。

- (1) グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

パネ 長穴

グリル

グリルの据付け方向の変更

インテリア格子タイプはグリルの据付け方向を90° 変更できます。

- (1) マイナスドライバーの先端でパネ固定ピースを矢印①の方向に押し、グリルから抜き取りパネをはずす。
- (2) パネの位置を90° 変更して据付け、パネをパネ固定ピースで固定する。

●お願い

- パネ固定ピースは「パチン」と音がするまで挿入して、抜けないことを確認してください。

パネ固定ピース パネ

グリル マイナスドライバー

パネ固定ピース

5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチの切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。
- 羽根が外れていないか確認してください。

お客様への説明

別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者(オーナー、ゼネコン)または管理者に説明してください。

6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを「入」にしても羽根が回転しない強/弱どちらか動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇に AC100V が供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※【4】電気工事の電圧チェック表を確認する
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定(ネジ止め)が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット)	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管)	ダクトのつぶれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい(屋外フード)	屋外フードのほこりを清掃する(特にリフォーム時)
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む

7. 別売グリル

■十字格子(-J)タイプ

■インテリア格子(-C、-CK、-G)タイプ

■フラットインテリア(-FP)タイプ

■ 適応表

本体形名	グリル					開口面積 (cm ²)
	形名	タイプ	色調	変化寸法(mm)		
				A	B	
VD-10ZUC ₄ -IN VD-10ZLUC ₄ -IN	P-180GB ₃ -J	十字格子	クールホワイト	250	15	168
	P-180GB ₃ -C	インテリア格子	クールホワイト			150
	P-180GB ₂ -CK	インテリア格子	マットブラック			
	P-180GB ₂ -G	インテリア格子	ライトオーク		39	238
	P-180GB ₄ -FP	フラットインテリア	クールホワイト			